

新大学における施設整備方針について（案）

1 施設整備の基本的な方向性

- (1) 現在の秋田公立美術工芸短期大学の校地、施設および設備を活用することとする（以下「新屋キャンパス」という。）。
- (2) (1)のほか、カリキュラム編成、教員編制および教育環境の確保などの観点から必要な増築・改修を行うものとする。
- (3) 施設の増築等にあたっては、新屋キャンパス敷地内への整備とあわせ、他大学との連携・交流やイニシャルコスト低減化を図るため、他地域の施設活用についても検討する。

2 校地・校舎の概要について

(1)既存新屋キャンパス（現 秋田公立美術工芸短期大学）資料 1 - 1

ア 敷地面積	41,745.24m ² (駐車場等を除く)
イ 校舎床面積	14,969.88m ² ・講義室、演習室、実習室、情報処理学習施設、語学学習施設 ・研究室、図書館、厚生棟、学長室、事務局、会議室等 大学設置基準に基づき、体育館、大学開放センターおよび運動場等は除外
ウ 運動場	7,900m ²

(2)増築・改修分

ア 増築分（2,000m ² 程度を想定）	・教員増加分に係る研究室の整備 ・講義室、演習室の不足分の整備 ・学生制作室、倉庫等
イ 改修分	実習棟及び創作工房棟など
ウ その他	増築・改修に伴う設備・備品等

3 スケジュール(予定)

平成23年 6月～10月	施設整備方針の検討
11月～3月	施設改修等の設計
平成24年度中	工事
平成25年 3月末までに完成	(設備・備品設置を含む)

○校地・校舎の概要について(案)

新屋キャンパス(現 秋田公立美術工芸短期大学)比較表

	現在(美短の場合)		新大学		大学設置基準	
敷地面積	41,745.24㎡		同左		総定員420名で4,200㎡以上 総定員500名で5,000㎡以上 (収容定員学生数×10㎡)	
校舎面積	14,969.88㎡ 部屋数		増	講義室、 演習室 増分(案)	増加分 面積	総定員420名で4,950㎡以上 総定員500名で5,578㎡以上 (収容定員-400)×3, 140÷ 400+4, 793㎡)
	講義室	5	増	+2室	330	必置
	演習室	13	増	+3室	450	必置
	実習室	33	同左			必置
	情報処理学習施設	7	同左			なるべく設置
	語学学習施設	1	同左			なるべく設置
	専任教員研究室	27	増	+12室	360	必置※1
	学長室(+応接室)	1	同左			必置
	図書館	1	同左			必置
	会議室	3	同左			必置
	事務室	1	同左			必置
	保健室	1	同左			必置
	研究室インフォメーション	1	同左			
	講師休憩室	1	増	+2室	60	
	教務補助室	1	同左			
	厚生棟 (学生食堂、学生 控室、自習室含)	1	同左			必置
	その他増加分				800	廊下、トイレ、学生制作室、 倉庫
体育館	1,113.27㎡	1	同左		原則必置	
大学開放センター	2,582.02㎡	1	同左			
建物等面積合計	18,665.17㎡					
増加分面積				2,000		
運動場	7,900.00㎡	1	同左		必置	

※「必置」大学設置基準36条1項、「なるべく設置」同条4項、「原則必置」同条第5項
「グラウンド」同基準35条

※1 学長を除く専任教員39名分として設置

○秋田公立美術工芸短期大学校舎関係

施設名	構造	床面積 (㎡)	備考
管理棟	RC-2F	1,296.17	アトリウム棟 高さ15m、長さ92m、幅8m
講義棟	RC-2F	6,471.54	
研究棟	RC-3F	1,384.64	
シンボルタワー	RC-5F	449.41	高さ30m
実習棟	W-1F	2,331.88	
附属図書館	RC-2F	1,194.41	
厚生棟	RC-2F	878.59	学生食堂、売店
創作工房棟	W-1F	963.24	
計		14,969.88	
大学開放センター	W-1F (一部2F)	2,582.02	
体育館	RC-2F	1,113.27	
グラウンド		7,900.00	

全体図

